

農 大

令和6（2024）年度版

令和6年8月30日発行
愛知県立農業大学校

だより

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1-2
Tel : 0564-51-1601 Fax : 0564-51-4831
E-mail noudai@pref.aichi.lg.jp
ホームページ : <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>



作物専攻



CONTENTS

- 1 専攻紹介 作物
- 2 新入生 入学して思うこと(後編)
- 3 クラブ紹介(茶道部、フットサル部)
- 4 研修紹介 農福連携支援研修
- 5 専攻トピックス
- 6 活躍する研修生 OB
- 7 トピックス
安城農林高校 PTA が研修に来校
- 8 お知らせ
令和7年度入学者選抜試験

愛知県立農業大学校
公式HP



Instagram



X (旧 Twitter)



専攻紹介

作物専攻

作物専攻は、15名（1年生6名・2年生9名）の学生が、1haの大規模水田を含む9枚のは場、計3.3haの水田で水稻・小麦・大豆の栽培・販売実習を行っています。

水稻では「コシヒカリ」、「あいちのかおり」を始め「ミルキークイーン」や、化学農薬及び化学肥料を使用しない栽培方法で作ったお米など、様々な品種や方法での栽培技術を学び、大切に育てたお米は直売で販売しています。

大きな面積の栽培に適したスマート農業の実演も行っており、今年から田んぼの肥沃具合に応じた施肥管理ができる可変施肥田植え機を導入しました。また、PFコンバイン（水分・収量・品質を確認しながら収穫できる）も活用し、最新の農業を学ぶことができます。

最新の技術に触れながら、食糧生産の根幹を担う作物栽培を学ぶことができるのが作物専攻の魅力です。

4・5月

新学期早々、苗の準備と田植えで忙しくなりますが、遊び心を忘れず楽しく実習に取り組みます！



1ha水田での直播栽培播種



6・7月

田植えが終わって一段落…と思いきや
校外学習、マーケティング研修を行います!!



8・9・10月



熟期の異なる多彩な品種の収穫が約2か月間続きます。今年の新米の出来はどうか？

【水稻栽培品種】

コシヒカリ・ミルククイーン・あさひの夢・あいちのかおり・愛知糯126号・こはるもち・夢吟香・つきあやか



美味しい新米をどうぞ！

11月以降

収穫後は次作に向けた水田の準備を行います。ロータリ・プラウ・レーザーレベラー・ハローといった様々な機械を駆使します!!

直売で新米を販売！



その他の活動

校外学習で農業総合試験場や農業法人、味噌や酒造メーカーを訪問し、水稻・小麦・大豆の栽培や加工について学んでいます。また、県外学習で他県の作物生産について学んでいます (R4: 宮城県、R5: 北海道、R6 予定: 福岡県)。

その他にも加工演習として、豆腐・味噌・五平餅作りや餅つきを行っています。作った五平餅や切り餅は農大祭でも販売します。



校外学習で農業総合試験場を訪問！



加工演習で餅つき！

特集

2024新入生 農大に入学して思うこと(後編)

2024年度に入学した新入生から、各専攻一人ずつ、「農業大学校に入学したきっかけ」や「卒業後の進路」などを聞いてみました。7月号と8月号に分けて紹介します。

《新入生》

若林怜輝	【鉢物・緑花木専攻】	…県外普通高校出身
柘植大和	【切花専攻】	…県内農業高校出身
川田恭平	【作物専攻】	…県内普通高校出身
良知秀哉	【果樹専攻】	…県内普通高校出身
小寺 輝	【露地野菜専攻】	…県内農業高校出身
竹谷吏乃	【施設野菜専攻】	…県内農業高校出身
間瀬 翔	【酪農専攻】	…県内農業高校出身
原田颯希	【養豚・養鶏専攻】	…県内農業高校出身

Q 農業大学校に来てよかったところは？

●若林怜輝【鉢物・緑花木専攻】

実際に鉢花を生産し販売することができるので、どのように苗を作ったらよいか、どの年代の人にどんな品目が売れるのかなどを見ることができるのでとても楽しいです。また、自由に生産する品目を決めていいので、この品目はどのくらい売れるのかなど体験を通して学べるのが良いところです。

●柘植大和【切花専攻】

寮がきれいでご飯がおいしいところや、実習内容が充実しているところです。また、実習販売などで幅広い年齢層の方々と交流できることもよいと思います。

●川田恭平【作物専攻】

普通科高校から来た生徒目線ではありますが、自分よりも農業のことについて詳しい人がほとんどなので、困った時に相談に乗ってくれたりしてとても助かっています。

●良知秀哉【果樹専攻】

農作業をやっていて作業のたびに大きな達成感を感じることができたり、作業を通して友人を作ることができたりしたことです。

●竹谷吏乃【施設野菜専攻】

専攻実習が多いため、農業を実践的に学ぶことができ、新しい知識をたくさん得られるところです。

●小寺 輝【露地野菜専攻】

本当に友達ができやすい環境だと感じました。実習を通し協力しあったり、一緒に授業を受けたり交流が深まる機会が本当に多いです。また、普通科の学校ではまず学べない専門知識がたくさん学べるため、きてから新しいことだらけでとても新鮮なのが魅力です。

●間瀬 翔【酪農専攻】

とても個性的な人が多くてびっくりしましたが、皆優しく話しやすいところです。

●原田颯希【養豚・養鶏専攻】

近くにスーパーやコンビニがあり、立地が良く、不便なく過ごすことができる点や、様々な分野の資格取得に挑戦できること、新鮮な卵や野菜を安価に購入できることです。

Q 専攻実習はどんな感じですか？

●若林怜輝【鉢物・緑花木専攻】

私は普通高校出身でわからないことも多くありましたが、先生や先輩方が丁寧に教えてくださり、不安を感じることなく作業できています。また、実際に洋ランなどの生産を実習で学び知らなかったことをたくさん知ることができて楽しいです。

●柘植大和【切花専攻】

高校生の時も草花専攻で花について学んでいましたが、農大ではさらに専門的になり、気になることや興味のあることを深く学べるので、入学してよかったと思いました。

●川田恭平【作物専攻】

初めて農作業を体験してみて、全てのことが新鮮で楽しいです。まだ分からないことが多いけれど、先生や仲間に聞いたりして自分から率先して作業に取り組んでいます。また、作業の合間などに先生や先輩などとも話せてとても楽しいです。

●良知秀哉【果樹専攻】

1日のうちほとんどが専攻実習の日もあり大変だと思っていますが、達成感のある仕事ばかりで辛いと思ったことはありません。

●竹谷吏乃【施設野菜専攻】

私はトマトを担当しており、特に収穫が大変ですが、取り終えた後は達成感を味わえて、やりがいを感じます。みんなで和気あいあいとした雰囲気楽しく実習に取り組んでいます。

●小寺 輝【露地野菜専攻】

農業の事でわからない事は、大概学校にある物で解決できる位、道具や教材や機械がしっかりしており、土地も広く、先輩や先生が本当に優しく教えてくれるため、作業もスムーズに覚えることができ、とても自分の成長を実感しながら、楽しく知識と経験をつめるととても良い環境です。

●原田颯希【養豚・養鶏専攻】

最初はわからないことだらけで先生や先輩に頼ってばかりでしたが、時間の経過とともに、自分で考えて行動できるようになりました。鶏の健康管理だけでなく、鶏卵の出荷調整も行うので経営も学べ、大変ですが楽しいです。

●間瀬 翔【酪農専攻】

とても忙しいですが、やりがいがあり毎日頑張ることができています。

Q 卒業後の進路をどのように考えていますか？

●若林怜輝【鉢物・緑花木専攻】

まずは農家さんのもとのように、そのあとは自営就農したいと考えています。



●柘植大和【切花専攻】

JAに就職したいと考えています。また、生産者としても農業に従事していきたいので、兼業農家として活動したいと考えています。



●川田恭平【作物専攻】

JAか農業関連企業に就職したいです。どんな就職先を選ぶとしても農大で学んだことを生かせる職に就きたいです。



●良知秀哉【果樹専攻】

明確には決まっていますが、農作物を作る企業に就職したいと考えています。



●竹谷吏乃【施設野菜専攻】

明確には決まっていますが、JAなどの農業機関への就職を考えています。



●小寺 輝【露地野菜専攻】

露地野菜を専門に栽培している愛知県の農業法人に就職したいと考えています。

そのために、資格の取得と実習を積極的に今は頑張っていきたいです。



●間瀬 翔【酪農専攻】

今はまだはっきりと決まっていますが、農大での経験を活かせるような仕事に就きたいと考えています。



●原田颯希【養豚・養鶏専攻】

大規模な観光牧場に就職したいです。習得した知識や技術を活かせるように鳥類を飼育しているところを探しています。



学生クラブ紹介

茶 道 部

部員数 15名
(男子6名 女子9名)
活動日時 水曜日 18:00~
活動場所 旧本館1階和室



こんにちは茶道部です！私たちは週に1回、外部講師の安藤宗艶先生をお呼びして稽古をしています。初心者ばかりなので、みんなで仲良く教えあっています。また、季節によって和菓子や花の種類が変わるので名前を覚えられるなど勉強になります。男女問わず、誰でも大歓迎です！

フットサル部

部員数 17名
(男子17名 女子0名)
活動日時 水曜日 18:30~
活動場所 体育館



こんにちはフットサル部です。私たちは1年生と2年生の仲が良く、楽しい雰囲気です。練習やミニゲームを中心に、楽しみながらがモットーです。残念ながら東海近畿スポーツ大会ではフットサルの競技はありませんが、年に数回大会にも参加しています。初心者の方でも気軽に参加できるので、是非私たちと良い汗を流しましょう。

研修紹介

農 福 連 携 支 援 研 修

この研修は、障害者就労施設等の皆さんが野菜栽培の基礎を学び、①施設の利用者のかたへ作業をわかりやすく伝えられるようになること、②施設の畑で野菜が栽培できるようになることを目指しています。

令和2年度に始まり、今年で5年目になりました。5月24日に開講し、翌年1月17日にわたって26日間行います。



研修の内容は、実習と講義、先進的に農福連携に取り組む施設の視察です。

実習では、露地野菜栽培ほ場においてキュウリ、ピーマン、ナス、スイカ、サツマイモなどの春夏野菜、ハクサイ、ダイコン、ニンジン、チンゲンサイなどの秋冬野菜の栽培をします。



播種、間引き、追肥、整枝、誘引などの栽培管理から、収穫・調製、片づけまで一連の栽培体験を行います。春夏野菜は収穫を終えつつあり、今後は片付けと秋冬野菜の準備に入ります。

講義では、野菜作りに関する基礎知識（肥料、病害虫、土づくり、雑草防除）を始め、わかりやすく教える工夫、農福連携技術支援者概論など農福連携に関することも学びます。



さらに、研修生各自が施設の畑の土を農業大学校へ持ち寄り、土壌分析も行います。

研修生の皆さんは、障害者就労施設の仕事をこなしながら、この長期研修を頑張っ



て受講しています。

研修生の皆さんからの言葉（一部抜粋）

週1回の研修なので、業務との両立が可能でした。他の研修の方々や同じ仲間、先生との横の繋がりが前へ進めると感じている。

収穫後に切り戻しをすることをしていなかった。利用者が収穫した後、切り戻しすることにより、より長く育てられることを知りました。

講義は難しい内容のものも多いが、座学が学べることもこの研修のメリットだと感じています。

独学だと何から勉強すれば良いのか分からないが、研修では先生が要点をわかりやすく教えてくれるので勉強になることが多かったし、より農業のことを身近に感じるが増えたと思います。

実際にはほ場に出て実習体験に合わせて、先生の話を聞かせていただき、大変さ、おもしろさ等々毎回わくわく楽しく学習することができています。これからの楽しみです。

野菜づくりの基礎から、農薬のこと、土づくりの大切さや野菜の病気や害虫のこと等、詳しく丁寧に実践も含め学ばせて頂き、実際に施設でどのように活かしていけるか、どんな野菜を作っていくか等イメージしながら講座を受けさせて頂き毎回楽しみにしています。

特に実際に刈払機を使用できたことや視察では実際に農福連携されている様子もしっかり観てイメージが膨らみ実践できるといいなと感じています。

児童福祉に関わった仕事をしているが、農業にも興味を持ち始めたところだったので「農業と福祉の連携」を知り、グッドタイミングでラッキー、ナイスな流れの参加です。毎週とても楽しみです。

一緒に参加する仲間もいい方ばかりで、参加したあとも気分良く、感謝がわき起こってきます。

私にとっては、農業って楽しいな一と思えるころあいのよい研修です。

農業の経験に関しては、まったく初めての人もいれば既に施設で取り組んでいる人まで様々です。皆さん和気あいあいと、楽しく前向きに取り組んでいます。

積極的にコミュニケーションをとって人脈づくりに励む姿もみられ、有意義な研修になっています。

専攻トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！

○専攻別学生数

(注)カッコ内は女子の内数

区分	鉢物・緑花木	切花	作物	果樹	露地野菜	施設野菜	酪農	養豚・養鶏	計
1年	6(0)	8(2)	6(1)	13(3)	13(4)	15(2)	11(5)	6(6)	78(23)
2年	7(2)	5(1)	9(2)	15(5)	14(7)	15(3)	15(6)	10(3)	90(29)
計	13(2)	13(3)	15(3)	28(8)	27(11)	30(5)	26(11)	16(9)	168(52)



猛暑を小さい体で乗り越える！

鉢物・緑花木専攻で栽培している花のうち、秋～冬に出荷するシクラメンやポインセチアなどの鉢花、パンジーやハボタンなどの花苗は、夏の間には播種や育苗をするため、小さな植物体で過ごすことになります。今年のように毎日猛暑日が続く環境下では、植物も辛そうですが、なんとか猛暑を乗り越えて秋以降にきれいな花を咲かせてくれますようにと、学生が毎日水やりや栽培管理をしています。



珍しく閑古鳥鳴くお盆営業

切花専攻にとってお盆といえば、お墓参り用のキクの需要が高まる書き入れ時…のはずでした。例年なら、お盆直前の実習販売では、普段からすると考えられないくらい多くのお客さんがキクやケイトウを買い求めてきて、こちらはその対応でてんやわんやするというのが当たり前でした。

それが今年はどうでしょう。8月7日、14日の実習販売は両日とも、猛暑のせいにお客さんがあまり来ず、せっかく大量に用意したキクがほぼ余ってしまいました。無念です。まあ、こんな年もあるか…。





キャベツの定植始まる



8月から露地野菜専攻のキャベツの定植が始まりました。年内で合計9回定植を行う予定です。1回目の定植はお盆前だったので、高温、水不足の中の定植になりました。できる限りかん水を行いましたが不安が残ります。一番初めに植えたキャベツは10月上旬には収穫できる予定です。

入学した4月と比べて1年生は作業の手際がどんどん良くなっています。今回、1年生は初めての定植機の使用であり、慣れないながらも懸命に植えていました。これからの成長に期待がかかります。



アールスメロンが豊作となりました！

7月下旬から8月上旬にかけてアールスメロンの収穫期を迎えました。今年は苗の生育がよく、予定よりも多くの株を定植できたことに加え、受粉の作業を徹底的に行ったこと、液肥の給液量を昨年より増やしたことなど、様々な工夫をしたことで、昨年よりも大きくて綺麗なメロンをたくさん生産できました。

収量が多い分、販売が大変ではありますが、より多くの方に購入してもらって、食べていただきたいです！次作はさらに豊作を目指します！



水稻の収穫スタート!!

いよいよ稲の収穫シーズンが始まります。今年は例年よりも早く、8月13日に「コシヒカリ」から収穫がスタートしました。鳥害や猛暑の影響も見受けられますが、暑さに負けず、学生たちが一生懸命に管理・作業を行っています。

これから新米シーズンに向けて販売ができるように準備を進めていますので、今年も美味しい新米を楽しみにしてください。





果樹、最盛期へ

果樹専攻では、8月に入り収穫のピークを迎えています。

収穫作業は一斉に行うのではなく、何日にも分けて熟したものからとる必要があるため非常に忙しいです。9月いっぱいまでは忙しい日は続きますが、半年間頑張って育ててきた果物のためにも、最後まで乗り切りたいです。

学生たちが頑張って収穫した果物は、毎週水曜日に農大で販売しています。品種が少しずつ変わっていくので何度も足を運んでいただき、品種による食味の違いを楽しんでいただければと思います。



チーズの加工演習を行いました

酪農専攻では生乳の加工にも目を向け、夏休み前に講師をお招きし、モッツァレラチーズ、さけるチーズ、カチョカバロの3種のチーズの作り方を教えていただきました。

チーズ「職人」という言葉があるように、チーズを作るには温度、pH、タイミング等、難しいポイントがたくさんあります。生乳の殺菌から発酵、凝固といった、完成までの過程の一つ一つを、講師の方から詳しく教えていただきました。楽しく作ることができたのはもちろんですが、チーズの奥深さや6次産業化・経営の難しさ等、様々なことを教えていただき、学生にとっても刺激のある加工演習となりました。



人工授精技術を学んでいます

養豚専攻では、繁殖は全て人工授精で行っています。1年生は、人工授精の準備から実施まで初めて経験することばかりのため、技術を習得している2年生から注意点やコツなどアドバイスを受け、2年生の手法を見ながら学んでいきます。技術はすぐに習得できるものではありませんが、何回か実践することで自分自身で掴んでいきます。今ではまだ手探りの状態で、おぼつかない状態ですが、1年後には自信たっぷりに後輩に教えていることでしょう。



OB紹介

農家になって頑張っている研修生OB

平成30年度農業技術研修（旧 雇用創出農業研修）受講生

就農6年目

平岩栄美子さん 年齢49歳

就農地：知多郡東浦町内、栽培品目：イチジク10a、ソラマメ20a、その他露地野菜10a、労働力：自家労力1人、パート3人



- きっかけは
山のガイドをやめてからも自然と向き合う仕事をしたくて農業を志しました。
- イチジクを選んだ理由は
長く離れていた愛知に戻ることになり、愛知の魅力を発信できるよう、地元の代表的な品目として選択しました。
- 就農にあたって苦労したことは
栽培技術が伴っておらず作業が後手に回り、初めはなかなか収穫量が上がらなかったこと。
- 就農後の成果は
イチジクではあまり例のない栽培期間中農薬不使用に取り組み、毎年全量買い上げの契約を結ぶことができました。
- 現在研修中の皆さんへ
とにかく悩んでいても変わらないどころか止まったまま。悩むのは行動しながら。困ったらぜひ、理想とする方に相談してください。

令和2年度ニューファーマーズ研修受講生

就農4年目

石原広貴さん（JA西三河いちご部会） 年齢41歳

就農地：西尾市内、栽培品目：イチゴ44a
労働力：自家労力2人、パート従業員14人

- きっかけは
食品原料系の卸・商社に14年勤務する中、物を作る仕事をしたくて、この道に進む決意をした。
- イチゴを選んだ理由は
新規参入で始めて収支が合いそうな品目として、イチゴかミニトマトかで迷ったが、需要と供給（新規参入者の状況）を見て、イチゴの方が勝算があると考えたため。イチゴが好きな訳ではない。
- 就農にあたって苦労したことは
ハウスも作業場も軽トラも何も所有していなかったので、それらの確保とその資金繰りに苦労し、JAから限度額いっぱい程度まで融資を受け、環境を整えた。返済も大変である。
- 就農後の成果は
自己採点すると、就農1作目50点、2作目70点、3作目90点。炭疽病やハダニなどの病害虫のコントロールに苦戦したが、段々と自分の目標どおりに栽培できるようになってきた。
- 就農を目指す皆さんへ
ほ場に行かないのは元日の午前中のみで休みがないのが農業の実態。JA出荷は手堅く、地域とのコミュニケーションも大切である。資材も高騰し、就農のハードルは高くなってきているので、挑戦するのかよく考える必要がある。

トピックス

安城農林高校 PTA が研修に来校されました

6月25日（火）に安城農林高校 P T A の研修会が本校で行われ、本校の教育内容を知っていただく機会になりました。当日は早朝から P T A の方約 40 名と引率の先生が来校され、到着後すぐに 2 班に分かれ実習風景の見学を行いました。各専攻では安城農林高校出身の学生が生き生きと説明をし、寄せられる質問にも的確に回答していました。その後大教室に移動して、本校の教育内容について説明し、最後に寮の見学と食事体験を実施しました。

安城農林高校から本校への進学は毎年 10 名以上に及び、将来就農を希望している生徒が本校を選んでくれています。

参加された方からは「オープンキャンパスにも来たい」との御意見もいただき、農業高校との連携が深まったと思います。このような機会をつくっていただいた安城農林高校に感謝いたします。



お知らせ

令和7年度入学者選抜試験

●特別推薦入学試験

出願期間 9月10日(火)～9月13日(金)
 試験日 9月30日(月)
 合格発表 10月8日(火)
 試験科目 面接試験
 募集人員：20名程度

●一般推薦入学試験

出願期間 9月30日(月)～10月16日(水)
 試験日 11月1日(金)
 合格発表 11月13日(水)
 試験科目 小論文(800字以内)、面接試験
 募集人員：定員100名のうち2/3程度



●一般入学一次試験

出願期間 11月12日(火)～11月27日(水)
 試験日 12月10日(火)
 合格発表 12月19日(木)
 試験科目 数学I、小論文(800字以内)、面接試験
 募集人員 定員100名の内、推薦入学合格者を除く数

・詳細は、本校ホームページを御覧ください